

平成 26 年 2 月 26 日開会

## 市議会定例会提案説明

(議案第 4 号～議案第 86 号)

(報告第 3 号～報告第 6 号)



本日は、平成26年第1回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には何かとご多用の中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

今定例会では、新年度の予算案のほか、諸議案のご審議をお願いするわけですが、議案をご説明申し上げる前に、市政に臨む所信の一端を申し述べたいと思います。

今回、私は就任後始めて、当初予算から全ての政策的経費を組み込む本格予算の編成に臨み、公約実現の確かな一歩となる予算編成に努めたところであります。

予算編成では、責任ある財政に向けて、私自身が先頭に立ち、経常経費の段階からヒアリングを実施し、事業の精査を行ってまいりました。

その際、容易に削減できない経費の増加に、改めて、本市の財政状況の厳しさを痛感したところであります。

また、そうした中においても、活気溢れる、元気な桑名市への布石として、平成26年度をブランド元年と位置付け、将来に向けた予算編成に、意を用いたところであります。

さて、国の景気動向や政策に目を向けますと、内閣府が今月17日に発表した国内総生産（GDP）速報値では、物価の変動の影響を除いた実質で前期比0.3%増、年率換算で1.0%増となり、4半期連続でのプラス成長と発表されました。

民需を中心に景気が着実に上向いており、企業収益がデフレ脱却・経済再生に向け、好転しているとのことであります。

景気低迷が長らく続いておりましたが、アベノミクス、さらにはオリンピック効果もあって、国全体に明るい兆しが出てきております。

しかしながら、一方では、成長率の鈍化や海外景気の下振れが、我が国の景気を下押しするリスクとなっているほか、今年4月からの消費税率の引上げの影響も懸念されるところであります。

国におきましては、消費税率引上げ後の景気の下支え対策として、平成25年度補正予算が成立しておりますが、今後も状況に応じた、切れ目のない経済対策を行っていただくよう、期待を寄せるものであります。

こうした状況の中、地方自治体を取り巻く環境は、急激なスピードで変化しており、厳しい財政状況に加え、少子・高齢化による人口の減少、多様化する住民ニーズなどへの対応を迫られています。

桑名市の市政運営においては、財政の硬直化が大きな課題であり、歳入につ

きましては、景気回復に伴う、民間の設備投資や地方消費税等の地方財源の引上げによる収入増を期待するものの、経済情勢、社会環境の変化が想定されることから、楽観的な収入見通しを立てることができない状況にあります。

今後一層、一般財源の確保に努めていかなければならないと考えております。

一方、歳出につきましては、社会保障費の事業費拡大により、政策的経費に使える一般財源が抑制されるなど、硬直的な財政構造が続いております。

このような状況の中、平成26年度の予算編成に当たっては、事業コストと優先順位を念頭に、限られた財源を有効に活用するとともに、補助金の縮減をはじめとする、歳出全体の見直しを行ったところであります。

この変化の激しい社会環境や厳しい財政状況に対応するためには、財政改革と合わせて、職員の意識改革が非常に大切と感じております。

最近職員と議論するときには、イギリスの生物学者であるチャールズ・ダーウインの話をします。

ダーウインは、『最も強いものが生き残るのではなく、最も賢いものが生き延びるでもない。唯一生き残るのは、変化に対応できるものである』という考え方を示したと言われております。

桑名市役所においても、時代の趨勢や社会環境の変化に敏感に対応していかなければなりません。

そのため、職員の意識改革に積極的に取り組んでまいります。

また、行政改革についても、旧来からの運営手法を根本から見直し、身の丈にあった予算、市に相応しい効率的・効果的な行政運営体制を確立するために、新たな行政改革大綱を策定し、行政サービスの提供に取り組んでまいります。

職員一同、その使命と役割を深く認識し、力を合わせて何としてもこの厳しい状況を乗り越え、元気で、活気溢れる桑名にするため、オール桑名で取り組む所存であります。

議員の皆さま方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

それでは、改めまして市政運営の概要を、私の7つのビジョンに沿って申し述べさせていただきます。

まず、「全員参加型市政」の構築では、これまで開催してまいりました「どこでも市長室」や「市長カフェ」など、市民の皆さまとの意見交換を引き続き実施し、さらに、市民の皆さまとの対話が進むよう、対象者の拡大など充実を図ってまいりたいと考えております。

また、私のビジョンに合わせた総合計画の策定につきましては、これまでも様々な機会を設け、次代を担う中高生から経験豊富な年配の方まで、幅広く

ご意見、ご提言を頂いてまいりました。

今後、計画の骨子をお示しする中で、議員の皆さまのご意見を賜りながら、今年の9月議会の上程を目途に策定作業を進めてまいりたいと考えております。

さらに、平成26年度は新市誕生10周年の記念すべき年であり、市民の皆さまと共に節目の年を祝いたいと考えております。

次に、「納税者の視点で次の世代に責任ある財政に」では、総合計画の策定と合わせて、行政改革大綱の策定に取り組んでおり、こちらでは民間の行政改革推進委員から、適切にご意見やご提言も頂戴しております。

財政状況も踏まえ、行財政改革の断行や民間活力の積極的な導入、さらには、公共施設のあり方についても、専門的な見地からご意見を賜っており、平成26年度には公共施設マネジメント推進事業として取り組みを進めてまいりたいと考えております。

次に、「命を守ることが最優先」では、市民の皆さまにご心配をお掛けしている地方独立行政法人桑名市総合医療センターの一刻も早い開院に向けて、全力で支援をしております。

また、高齢化が進み、成年後見人の需要が高まる中で、安心して生活できるよう、法人後見人や市民後見人の育成に努めてまいります。

次に、「子どもを3人育てられるまち」では、子ども・子育て支援事業計画の策定を平成26年度で完了し、子育て支援の包括的な体制づくりを進めます。

また、小・中学校においては、防災時の避難想定も含めた学校施設の安全対策を進めてまいります。

次に、「世界に向けて開かれたまち」では、桑名が本当に世界に開かれたまちになるには、企業だけが世界展開するのではなく、市民も、行政もグローバル化に対応する必要があります。

インターネットやソーシャルネットワーキングサービスが国境を越え、日常化する中で、桑名は立地的に中部国際空港に近く、海外との交流にも恵まれた環境です。

そうしたことから、まずは、持続性のある国際交流が可能な海外都市との提携を視野に調査研究に取り組んでまいります。

また、英語で積極的にコミュニケーションがとれる子どもたちを育てるため、小学校におきましては、先進的な音声指導を取り入れた英語教育を実施してまいります。

さらに、2020年の東京オリンピックの開催が決定し、全国的にオリンピック気運が盛り上がる中で、桑名市としても近隣市町とともに、ボート競技参加国の事前キャンプを長良川国際レガッタコースへ誘致していきたいと考えております。

次に、「地理的優位性を活かした元気なまち」では、地理的な立地の優位性を活かすため、道路ストック対策及び橋梁長寿命化対策、そして、幹線をつなぐ道路整備を実施してまいります。

また、桑名市の玄関口として近鉄桑名駅をバリアフリー化し、地理的優位性に加え、誰もが来訪しやすい利便性の確保を進めてまいります。

最後に、「桑名をまちごとブランドに」についてであります。平成26年度はブランド元年として、桑名を盛り上げ、元気にする取り組みを進めてまいります。

厳しい財政状況の中ではありますが、こうした時期にこそ、活気あふれる桑名のための種をまいていきたいと考えております。

桑名のブランド化については、桑名の誇れる資源や魅力を再認識し、市民の皆さまと一緒に桑名の魅力や価値を情報発信していきたいと考えています。

そうすることによって、桑名の認知度や価値を高め、桑名ブランドを確立し、ヒト、モノ、カネ、情報が集まる活気溢れる桑名になると考え、取り組みを進めてまいります。

以上、市政の運営方針について大要を述べてまいりましたが、財政問題をはじめとして、医療、福祉など困難な課題も数多くあります。

一つひとつ課題を解決しながら進めていくためには、議員の皆さま、市民の皆さまのご理解、ご協力が何よりも大切であります。

全力で取り組んでまいりますので、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

それでは、只今上程されました一般会計及び各会計の予算をはじめ、条例の制定、改正等各議案につきまして、議事日程の順序に従い、その大要を順次ご説明いたします。

まず、議案第4号「平成26年度一般会計予算」について、歳出から主なものをご説明申し上げます。

まず、総務費では、平成25年度から取り組んでおります総合計画策定作業を、

引き続き広く市民の皆さんのご意見をお聞きしながら進めてまいります。

また、これと合わせて、行政改革大綱の策定作業を進めます。

公共施設につきましては、今後、維持管理費の増加や多額の更新費用が必要となることを見込まれますことから、統廃合や機能転換等を含め、中長期的な視点で、施設ニーズの変化に対応した公共施設のあり方に関する計画を策定します。

桑名を売り込むという観点では、まちづくりにブランド化の視点を取り入れ、桑名市が持つ様々な魅力や価値を全国へ発信し、展開することで、市内外からの認知と都市イメージの向上を図るため、ブランド推進事業に取り組みます。

✓ **他都市との交流**では、現在、国内では友好都市提携をしておりますが、海外の都市との交流姉妹都市提携を結んでいないことから、提携に向け、候補となる都市の選定に関する調査を実施いたします。

**人権施策**では、平成17年3月策定の人権施策基本方針・基本計画が平成26年度で10年を経過しようとしているため、社会環境の変化による課題に対応する新たな方針・計画を策定いたします。

次に、**民生費のうち**、高齢者福祉では、高齢化が進行し、成年後見制度を利用しなければならない対象者の増加が見込まれる一方で、成年後見人となる方が不足している現状から、法人後見人・市民後見人の育成に取り組みます。

**障害福祉**では、障害者施策に関する基本的な事項を定める「障害者計画」と、障害福祉サービス等の量と提供体制を確保するための「障害福祉計画」がいずれも平成26年度で最終年次となりますことから、新たな計画を策定します。

また、消費税率の引上げに際し、低所得者に対する措置として支給する臨時福祉給付金、また、子育て世帯に対する措置として支給する子育て世帯臨時特例給付金、それぞれの給付に要する経費を計上しております。

次に、**衛生費**では、新病院整備に向け、施設整備や医療機器整備費用などを計上しております。

多度の健康増進施設につきましては、民間資金等の活用による施設の整備に向け、施設内容の提案も含めた**民間活力導入可能性調査**を実施いたします。

次に、**農林水産業費**では、農業基盤整備事業を進めるとともに、伊曾島漁港の整備事業は、工事施工に向け、設計等委託を行います。

次に、**商工費**では、観光振興として、多度大社と多度駅を結ぶ旧街道の街路灯整備などを引き続き進めてまいります。

次に、**土木費**では、道路ストック対策事業として、計画的かつ戦略的な維持管理のため、引き続き、老朽化により危険性が懸念される道路等の土木施設の総点検を実施するとともに、点検結果等を受け、老朽化した土木施設を補修し、利用者の安全確保に努めます。

また、橋梁長寿命化対策事業として、橋梁の長寿命化と維持管理費用の縮減のため、致命的な損傷が顕在化し、機能不全に陥る前に予防的な補修を実施し、利用者の安全を確保します。

街路事業では、江場安永線について、平成25年度に引き続き国道23号との交差点改良工事を国土交通省への委託により施工し、事業の完成を目指します。

総合運動公園整備事業では、サッカーグラウンドの整備区域について、中央駐車場整備工事と人工芝張工事などを実施し、平成26年度中の供用開始に向けて整備を進めます。

桑名駅西土地区画整理事業では、用地取得や建物移転補償、道路整備工事などを行い、事業の進捗を図ります。

また、桑名駅周辺整備として、橋上駅舎化等の基本設計修正業務を行うとともに、近畿日本鉄道株式会社が進めておりますエレベーター設置事業に対し助成します。

次に、**消防費**では、長島木曾岬分署と東員分署に配備の高規格救急自動車について、新しい車両に買い替えます。

災害対策では、長島地区における津波等の浸水対策として、東名阪自動車道の法面に一時避難場所とするための階段と待機場所を整備します。

本年は伊勢湾台風の襲来から55周年を迎えることから、その記憶を風化させないため、また、巨大地震の発生やそれに伴う津波災害、高潮被害などから市民の生命を守るため、緊急通報メールを活用した市総合防災訓練を実施します。

次に、**教育費**では、小学校英語活動推進事業として、小学校英語コミュニケーション推進の研究指定校を設定し、音声指導面での先進事例やより良いティームティーチング体制などの研究を進めるとともに、市内小学生が一堂に会し、英語で体験し、交流し、発信する場として英語キャンプを実施します。

新しい制度への対応として、引き続き「桑名市子ども・子育て会議」を開催するなど、子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」の策定作業を進めます。

学校施設では、安全性、防災性を備えた学校施設の整備を通じて、安全・安心な教育環境の確保を図るため、小学校2校、中学校1校に屋上フェンスを設置します。

幼稚園の就学前施設再編整備として、公立幼稚園について、平成27年度からの再編にあたり、再編後、園児や保護者が安心して幼稚園を利用できるよう、新たな園児の受け入れや広域の通園等に対応する幼稚園施設の改修や駐車場整備などを行います。

文化事業といたしましては、新市誕生から10周年を迎え、桑名ブランドのさらなるPRのため、財団法人自治総合センターからの助成を受け、記念シンポ



ジウムを開催します。

次に、歳入につきまして、主なものを申し上げます。

まず、歳入の根幹であります市税について、でございますが、個人市民税は、景気が回復基調であることから、増加を見込んでおります。

法人市民税は、業種による景気動向の影響の差を勘案し、減少を見込んでおります。

固定資産税につきましては、土地は、負担調整措置の変更により若干の増加になると見込み、家屋も、住宅地の開発などの動向による伸びを見込んでおります。

一方、償却資産につきましては、企業による設備投資の見込みから減となっており、固定資産税全体でも減額計上となっております。

そのほか、たばこ税は前年度と同額を見込むなど、市税全体では前年度とほぼ同額となっております。

地方譲与税につきましては、地方財政計画等を踏まえて、この程度を計上いたしております。

利子割交付金、配当割交付金及び株式等譲渡所得割交付金につきましては、前年度の交付状況及び地方財政計画に照らし、見込んでおります。

地方消費税交付金は、地方財政計画等を踏まえ、この程度の増加を見込んで計上いたしました。

自動車取得税交付金につきましては、地方財政計画等を踏まえて大幅な減額計上となっております。

地方特例交付金では、地方財政計画を踏まえ、若干減額して計上いたしました。

地方交付税は、基準財政需要額、収入額の増減見込みから減額計上いたしました。

分担金及び負担金並びに使用料及び手数料は、前年度実績、消費税率の引上げに伴う使用料改定分などを勘案し、この程度を計上いたしております。

国及び県支出金並びに市債につきましては、歳出事業に応じて所要の額を計上いたしております。

繰入金につきましては、財政調整基金からこの程度を繰り入れ、収支の均衡を図ったところでございます。

次に、議案第5号「平成26年度国民健康保険事業特別会計予算」についてご説明申し上げます。

まず、歳出では、保険給付費や後期高齢者支援金、共同事業拠出金などにつきまして、医療費実績の動向などから推計し、計上いたしております。

歳入では、保険税は、最近の収納実績に基づいて計上し、国・県支出金及び前期高齢者交付金については、医療給付費等の動向を勘案し、計上いたしております。

次に、議案第6号「平成26年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」につきましては、貸付金の収納及び地方債の償還に要する経費を計上いたしております。

次に、議案第7号「平成26年度市営駐車場事業特別会計予算」につきましては、末広駐車場の運営費や地方債の償還に要する経費を計上いたしております。

次に、議案第8号「平成26年度農業集落排水事業特別会計予算」につきましては、処理場施設の機能維持などの経費と地方債の償還に要する経費を計上しています。

次に、議案第9号「平成26年度介護保険事業特別会計予算」につきましては、最終年度となります第5期介護保険事業計画に基づき保険給付費を見込んだほか、地域支援事業などに要する経費を計上しております。

次に、議案第10号「平成26年度後期高齢者医療事業特別会計予算」につきましては、広域連合構成団体の納付金や賦課徴収事務に要する経費を計上しております。

次に、議案第11号「平成26年度地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計予算」につきましては、病院統合に伴い、歳出に新病院整備に係る貸付金、交付金などを計上し、その財源として、歳入に病院事業債、一般会計繰入金及び地域医療再生臨時特例交付金を計上いたしております。

次に、議案第12号「平成26年度水道事業会計予算」につきましては、施設の耐震調査のほか、配水管布設替えや水源開発に要する経費を計上するとともに、新たに地方公営企業会計制度改正に伴う引当金等の経費を計上いたしました。

次に、議案第13号「平成26年度下水道事業会計予算」につきましては、汚水管路整備事業費や雨水浸水対策に必要な経費、地方債の償還のほか、新たに地方公営企業会計制度改正に伴う引当金等の経費を計上いたしました。

次に、議案第14号「桑名市役所出張所設置条例の一部改正」につきましては、土地区画整理事業により新たな町の区域が設定されたこと等から地区市民センターの所管区域の一部を変更するとともに、文言の整理を行うものであります。

次に、議案第15号「桑名市民会館条例の一部改正について」及び議案第16号「桑名市多目的ホール条例の一部改正」につきましては、消費税率及び地方消費税率の引上げに伴い、各施設等の使用料を改定するとともに、規定の見直し及び文言の整理を行うものです。

次に、議案第17号「桑名市ブランド推進委員会条例の制定」につきましては、桑名市の魅力や価値を桑名ブランドとして戦略的に事業を展開するため、新たに附属機関としてブランド推進委員会を設置するものであります。

次に、議案第18号「桑名市新西方コミュニティセンター条例の一部改正」につきましては、西別所北部土地区画整理事業による換地処分が行われたことに伴い、この事業区域内にあります新西方コミュニティセンターの所在地を変更するほか、消費税率及び地方消費税率の引上げに伴い、センターの使用料を改定するとともに、規定の見直し及び文言の整理を行うものです。

次に、議案第19号「桑名市多度東部多目的集会所条例の一部改正について」ないし議案第21号「桑名市多度北部コミュニティセンター条例の一部改正」につきましては、消費税率及び地方消費税率の引上げに伴い、各施設の使用料を改定するとともに、規定の見直し及び文言の整理を行うものです。

次に、議案第22号「桑名市職員定数条例の一部改正」につきましては、消防職員のうち、採用直後から消防学校が行う初任科教育に派遣される者や救急救命士養成所に派遣されている者は、現場活動要員として配置できない状況にあり、これらの職員を職員定数から除外し、不足する職員を採用することにより、消防力を恒常的に維持させようとするものです。

次に、議案第23号「桑名市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正」につきましては、今議会で新たに設置するブランド推進委員会委員等の報酬額を規定するほか、既存の附属機関等に見直しに合わせて報酬額等を見直すとともに、監査委員のうち識見を有する者の報酬額を改定しようとするものです。

次に、議案第24号「桑名市行政財産目的外使用料条例の一部改正」につきましては、消費税率及び地方消費税率の引上げに伴い、目的外使用料を改定するとともに、使用料のほかに電気料金や水道料金を必要経費として徴収できる規定を設けたほか、文言の整理を行うものです。

次に、議案第25号「桑名市駐車場整備基金条例の廃止」につきましては、駐車場整備基金残高が、平成25年度末でゼロとなり、また、今後新たに積み立てをする見込みがないため、基金条例を廃止するものであります。

次に、議案第26号「桑名市農業集落排水整備支援事業基金条例の制定」につきましては、農業集落排水整備促進事業資金として借り入れた市債の償還金に充当する目的で県から補助金を受け入れ、これを積み立てるため、基金を設置するものであります。

次に、議案第27号「桑名市走井山会館条例の一部改正について」ないし議案第33号「桑名市隣保館条例の一部改正」につきましては、消費税率及び地方消費税率の引上げに伴い、各施設の使用料を改定するとともに、規定の見直し及び文言の整理を行うものです。

次に、議案第34号「桑名市老人ホーム入所判定委員会条例の制定」につきましては、老人ホームへの入所措置の適正な実施を図るため、これまで要綱で設置しておりました入所判定委員会を附属機関として条例設置するものであります。

次に、議案第35号「桑名市敬老祝金条例の一部改正」につきましては、敬老祝い金のうち、満77歳の喜寿の祝い金を廃止するため、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第36号「桑名市地域自立支援協議会条例の制定」につきましては、障害者が安心して地域で暮らせる福祉のまちづくりに向けて、関係者が共同して地域生活に関わる課題を協議するため、これまで要綱で設置しておりました地域自立支援協議会を附属機関として条例設置するものであります。

次に、議案第37号「桑名市予防接種健康被害調査委員会条例の制定」につきましては、市長が行う予防接種による健康被害を適正かつ円滑に処理するため、

これまで要綱で設置していた調査委員会を附属機関として条例設置するものがあります。

次に、議案第38号「桑名市共同浴場条例の一部改正」につきましては、消費税率及び地方消費税率の引上げ等に伴い、共同浴場の使用料を改定するとともに、規定の見直し及び文言の整理を行うなど、所要の改正を行うものです。

次に、議案第39号「桑名市斎場条例の一部改正」につきましては、西別所北部土地区画整理事業による換地処分が行われたことに伴い、この事業区域内にある斎場の所在地を変更するほか、消費税率及び地方消費税率の引上げに伴い、葬儀場等の使用料を改定するとともに、規定の見直し及び文言の整理を行うものです。

次に、議案第40号「桑名市多度自然休養村管理センター条例の一部改正について」ないし議案第44号「桑名市大型共同作業場条例の一部改正」につきましては、消費税率及び地方消費税率の引上げに伴い、施設の使用料を改定するとともに、規定の見直し及び文言の整理を行うものです。

次に、議案第45号「桑名市地域公共交通会議条例の制定」につきましては、地域住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保や利便性の増進を図り、実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議し、公共交通の活性化と再生を総合的かつ一体的に推進するため、これまで要綱で設置していた地域公共交通会議を附属機関として条例設置するものであります。

次に、議案第46号「桑名駅前複合公共施設条例の一部改正について」及び議案第47号「桑名市長島水辺のやすらぎパーク条例の一部改正」につきましては、消費税率及び地方消費税率の引上げに伴い、施設の使用料を改定するとともに、規定の見直し及び文言の整理を行うものです。

次に、議案第48号「桑名市道路占用料徴収条例の一部改正」につきましては、道路法施行令の一部改正により、占用料を徴収しない国の事業についての規定が削除されたことなどから所要の改正を行うほか、一部の占用料に消費税が課税されることから規定の見直し及び文言の整理を行うものです。

次に、議案第49号「桑名市法定外公共物管理条例の一部改正」につきましては、法定外公共物の使用料の減免に関する規定等を見直すほか、文言の整理を

行うものです。

次に、議案第50号「桑名市都市公園条例の一部改正」につきましては、消費税率及び地方消費税率の引上げに伴い、吉之丸コミュニティパークの駐車場使用料等を改定するとともに、指定管理者が管理を行う都市公園の追加をするなど、所要の改正を行うものです。

次に、議案第51号「桑名市営駐車場条例の一部改正」につきましては、消費税率及び地方消費税率の引上げに伴い、駐車場等の使用料を改定するほか、長島駅前駐車場を廃止することなどから所要の改正を行うものです。

次に、議案第52号「桑名市自転車等駐車場条例の一部改正について」及び議案第53号「桑名市長島防災コミュニティセンター条例の一部改正」につきましては、消費税率及び地方消費税率の引上げに伴い、施設の使用料を改定するとともに、規定の見直し及び文言の整理を行うものです。

次に、議案第54号「桑名市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定」につきましては、消防組織法の一部改正により、消防長及び消防署長の資格基準を市町村の条例で定めることとなったため、新たに条例を制定するものであります。

次に、議案第55号「桑名市消防手数料条例の一部改正」につきましては、地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部が改正され、危険物の製造所等の設置の許可等に関する事務に係る手数料が改正されたため、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第56号「桑名市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正」につきましては、消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正により、非常勤消防団員の退職報償金の支給額が引き上げられることに伴い、所要の改正を行うものです。

次に、議案第57号「桑名市社会教育委員設置に関する条例の一部改正」につきましては、社会教育法の一部改正により、社会教育委員の委嘱基準を市町村の条例で定めることとなったため、所要の改正を行うものです。

次に、議案第58号「桑名市人権教育基本方針策定委員会条例の制定」につき

ましては、平成26年度に桑名市人権教育基本方針を策定するにあたり、策定委員会を設置するため、条例を制定するものであります。

次に、議案第59号「桑名市公民館条例の一部改正について」ないし議案第62号「桑名市スター21条例の一部改正」につきましては、消費税率及び地方消費税率の引上げに伴い、施設の使用料等を改定するとともに、規定の見直し及び文言の整理を行うものです。

次に、議案第63号「桑名市プレイルーム条例の一部改正」につきましては、消費税率及び地方消費税率の引上げに伴い、プレイルームの使用料を改定するとともに、プレイルームの開館時間等の規定の見直し及び文言の整理を行うものです。

次に、議案第64号「桑名市長島ふれあい学習館条例の一部改正について」及び議案第65号「桑名市陽だまりの丘生涯学習交流センター条例の一部改正」につきましては、消費税率及び地方消費税率の引上げに伴い、施設の使用料等を改定するとともに、規定の見直し及び文言の整理を行うものです。

次に、議案第66号「桑名市総合運動公園ネーミングライツ選定委員会条例の制定」につきましては、桑名市総合運動公園にネーミングライツ（施設命名権）を導入するにあたり、新たに附属機関として選定委員会を設置しようとするものです。

次に、議案第67号「桑名市体育施設条例の一部改正」につきましては、桑名市総合運動公園サッカー場及び多目的運動広場を教育委員会の管理とするとともに、消費税率及び地方消費税率の引上げに伴い、施設の使用料を改定するほか、利用時間等の規定の見直し及び文言の整理を行うものです。

次に、議案第68号「桑名市博物館条例の一部改正について」及び議案第69号「桑名市六華苑条例の一部改正」につきましては、消費税率及び地方消費税率の引上げに伴い、施設の使用料等を改定するとともに、規定の見直し及び文言の整理を行うものです。

次に、議案第70号「桑名の千羽鶴技術保持者選定委員会条例の制定」につきましては、桑名の千羽鶴の技術を継承できる人材を育成し、桑名の千羽鶴技術保持者を選定するため、これまで要綱で設置していた選定委員会を附属機関と

して条例設置するものであります。

次に、議案第71号「桑名市が設立する地方独立行政法人に係る重要な財産を定める条例の一部改正」につきましては、地方独立行政法人法の一部改正に伴い、出資等に係る不要財産に関する規定を追加するため、所要の改正を行うものです。

次に、議案第72号「四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会を組織する普通地方公共団体の増加及び四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会規約の変更に関する協議」につきましては、四日市市及び桑名市で設置する消防通信指令事務協議会に、平成28年4月1日から新たに三重郡菟野町が加入するため、協議会の規約の改正を行うものであります。

次に、議案第73号「桑名市指定金融機関の指定」につきましては、本市の公金の収納及び支払いの事務を取り扱う金融機関に、本年6月1日から株式会社百五銀行を指定しようとするものであります。

次に、議案第74号「市道の廃止及び変更」につきましては、市道江場安永線拡幅工事及び道路台帳精査に伴い、2路線を廃止し、3路線を変更するものであります。

次に、議案第75号「地方独立行政法人桑名市総合医療センター第2期中期目標を達成するための計画を認可すること」につきましては、地方独立行政法人法第83条第3項の規定により、地方独立行政法人桑名市総合医療センター第2期中期目標を達成するための計画を認可することについて、議会の議決を求めらるるものです。

次に、議案第76号「議決事項の変更」につきましては、平成24年3月議会におきまして議決をいただき、現在工事中の桑名市役所本庁舎耐震補強事業につきまして、工事請負契約の金額を変更しようとするものです。

次に、議案第77号「平成25年度一般会計補正予算（第7号）」についてご説明を申し上げます。

今回の補正予算では、国の、好循環実現のための経済対策を盛り込んだ補正予算に伴う事業の計上も行っており、併せて、繰越明許費を設定しております。

それでは、歳出の主なものからご説明いたします。



まず、**総務費**では、地方財政法に基づく財政調整基金への積み立てを行います。

**民生費**では、後期高齢者医療特別会計など、各特別会計への繰出金について、増減を整理いたしましたほか、実績に基づき私立保育園運営費補助金では増額を、共同生活援助給付金、地域活動支援センター事業費については減額を行っております。

**衛生費**では、独法移行前の在職期間の退職手当負担分について、人数増により増額を、新病院整備の見直しに伴う出資金、貸付事業特別会計への繰出金を減額いたしております。

**農林水産業費**では、執行状況に合わせて事業費を減額整理いたしましたほか、好循環実現のための経済対策に沿った、国の平成25年度補正予算に伴う事業を追加計上いたしました。

**教育費**におきましても、国の補正予算に伴う事業を追加して計上しております。

その他、事業実績により予算の精査を行っております。

続きまして、歳入の主なものについて申し上げます。

市税につきましては、実績により市民税、固定資産税と都市計画税を増額いたしました。

分担金及び負担金並びに国・県支出金につきましては、それぞれの実績見込みなどにより整理を行っております。

繰入金では、国保会計からの繰り戻しのほか、財政調整基金からの繰り入れを減額調整し、収支の均衡を図っております。

諸収入は、延滞金などを実績見込みにより整理を行っております。

市債は、適債事業の確定に伴うものなどであります。

臨時財政対策債は、財政状況などを勘案し、増額計上しております。

次に、議案第78号「平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）」につきましては、実績見込みにより保険給付費などの精査を行いましたほか、給付費支払準備基金への積み立てを行っております。

次に、議案第79号「平成25年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）」につきましては、貸付金の償還実績に合わせた整理を行っております。

次に、議案第80号「平成25年度市営駐車場事業特別会計補正予算（第1号）」につきましては、平成25年度末で駐車場整備基金を廃止することに伴い、基金残高の全額を歳入として繰り入れ、当初予定しておりました一般会計からの繰

入額との調整を図るものでございます。

次に、議案第81号「平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）」につきましては、使用料や委託料の減額に伴う整理を行っております。

次に、議案第82号「平成25年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）」につきましては、実績見込みにより保険給付費や地域支援事業費を整理いたしましたほか、介護給付費準備基金などへの積み立てを行っております。

次に、議案第83号「平成25年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）」につきましては、実績見込みにより広域連合納付金の増額などを行っております。

次に、議案第84号「平成25年度地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計補正予算（第4号）」につきましては、事業の進捗状況に合わせ事業費を減額するとともに、地方債利子の減額を行っております。

次に、議案第85号「平成25年度水道事業会計補正予算（第4号）」につきましては、事業費の精査に伴い、収支予算において所要の整理を行っております。

次に、議案第86号「平成25年度下水道事業会計補正予算（第2号）」につきましては、事業の実績に伴い、収支予算において所要の整理を行っております。

以上、上程の各案件につきまして大要をご説明申し上げます。

よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

続きまして、報告4件についてご説明申し上げます。

まず、報告第3号「桑名市土地開発公社の経営状況に関する書類の提出」について申し上げます。

主な内容についてであります。平成25年度補正予算（第2号）では、土地売却事業といたしまして、陽だまりの丘に保有しておりました土地の売却収入を計上いたしました。

そのほか、事務執行に伴う残額の整理を行い、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ76億8,148万4千円となっております。

次に、平成26年度の事業計画、資金計画及び予算について申し上げます。

土地取得につきましては、蛸塚益生線事業用地を取得する予定をしております。

また、土地売却としましては、桑名駅西土地区画整理事業用地、桑名市総合運動公園用地、多度運動公園保全事業用地及び国営木曾三川公園整備事業用地を売却する予定としております。

このほか、事務管理費及び借入金の元利償還金などを計上いたしており、予算総額は、64億2,531万6千円となっております。

次に、報告第4号「一般財団法人桑名市文化・スポーツ振興公社の経営状況に関する書類の提出」について申し上げます。

平成25年度補正予算（第1号）につきましては、事務執行経費に係る所要の整理を行い、補正後の予算総額は、収入支出それぞれ1億4,628万5千円となっております。

次に、平成26年度の事業計画につきましては、施設の管理運営に効率的、効果的な手法を取り入れることにより経費削減を図り、さまざまな文化事業を実施する予定をしております。

当該事業年度の収支予算につきましては、指定管理者としての管理運営事業費などを計上いたしております。

予算総額は1億7,240万4千円となっております。

次に、報告第5号「桑名市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書の提出」について申し上げます。

この報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、平成25年度の教育委員会の主な事業について点検・評価を行い、ご報告するものであります。

内容といたしましては、平成25年度の教育委員会の施策における15の基本事業のうち24事業について、教育に関して学識経験を有する方のご意見を伺い、教育委員会自らが点検・評価を行ったものであります。

次に、報告第6号「議決事件に該当しない契約の変更」については、額田・町屋水源地機械・電気計装設備工事の契約について、契約金額を増額変更しましたのでご報告申し上げます。

以上、ご報告申し上げます。

よろしくご報告申し上げます。

